

外国人患者救急医療費補填事業 申請書作成上の留意点について

1. 別記様式第1号「外国人患者救急医療費補填事業補填金交付申請書」の記入方法
 - (1) 人数は、補填金を申請する外国人患者の総数を記入してください。
 - (2) 金額は、別紙3「外国人患者救急医療費補填金申請一覧表」中の「申請金額」の合計金額を記入してください。
2. 別記様式第1号添付書類の記入方法
 - (1) 別紙3「外国人患者救急医療費補填金申請一覧表」の記入方法
 - ア 表右上の「(— 枚目)」に、左側には合計枚数を記載し、右側には通し番号を記載してください。(例：(3－2枚目)は、3枚中の2枚目を表します。)
 - イ 「申請金額」は、別紙4「外国人患者救急医療費調査票」の下表「補填金申請基準額算定 ⑦申請額」の金額を記入してください。一患者で複数枚ある場合は合計額を記入してください。
 - ウ 小計欄には一覧表一枚ごとの合計を記載する。合計欄は、一覧表が複数ある場合は、一覧表の小計欄の合計を一枚目のみに記載してください。(一枚の場合は、小計と一致する)
 - (2) 別紙4「外国人患者救急医療費調査票」の記入方法
 - ア 3, 4については、搬送状況や患者の状況、未収となった理由等できる限り詳細に記入してください。記入のない場合、返戻されますのでご注意ください。なお、記載欄が足りない場合は別紙5に記入してください。
 - イ 「5. 公的医療保険、公的扶助等の適用等の有無」について、必ず適用の有無を確認の上その結果をチェックしてください。(1)から(4)に該当する場合は、本事業の補填対象となりません。(5)に該当する場合は、当該補助金による補填額を下表「補填金申請基準額算定 ⑥他公費等による支給額」に記載してください。
 - ウ 下表「補填金申請基準額算定」について
 - (ア) 入院を要したものにあっては、①上段に入院の日から起算して14日以内の入院期間を記載し、下段に当該診療期間に係る入院に要した診療報酬点数を記入してください。
外来診療にあっては、②上段に初診日を記入し、下段に当該初診日に係る初診時の診療報酬点数を記入してください。
 - (イ) ①及び②に係る診療報酬明細書(医科入院、医科入院外)を添付してください。

(ウ) ④について、入院時食事療養費に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準により算定した入院時食事療養費から食事療養標準負担額を控除した額を記載してください。

(3) 別紙5「回収努力の経過」の記入方法

別紙4で記載した回収努力の詳細について、以下事項に留意の上、記入してください。記入のない場合、返戻されますのでご注意ください。

- ・いつ(●年●月●日)【年月日欄】
- ・どのような方法で(電話・督促状・訪問等)【督促方法欄】
- ・誰に(本人・家族・友人・勤務先・大使館等)【相手方欄】
- ・回収努力の結果どうなったのか(支払あり・宛先不明返送・電話不通・断られる等)【連絡内容欄】

また、請求書等の送付により督促を行った場合は、その文書の写しがあるときは写しを添付してください。

3. 別記様式第3号「外国人患者救急医療費回収金報告書」の記入方法

補填金の交付申請時に提出した、当該患者に係る診療報酬明細書を添付してください。